

2024年度 まこと保育園 自己評価公表シート

1・園の教育保育目標

「優しい思いやりのある子」

「明るい元気な子」

「何事にもがんばる子」

乳幼児期にふさわしい環境の下で、友達や保育者と楽しく充実した生活を営み、人間として生きる力の基礎となる、豊かな心、意欲、態度を育てる

2・2024年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した、園評価の具体的な目標や計画

保育

「たくさん外遊びをして強い身体を育てよう」をテーマに楽しく子どもたちの心の充足と健康を意識した保育をする。

1日の流れや行事等は、年間を通して前年度の改善点を考慮し、安心して保育のできる環境を設定する。

職員

研修等に積極的に参加し、より子どもたちを深く理解出来るよう、積極的に学び知識を養う。

園の方針を的確に伝え保護者との信頼関係の構築に努める。

3・評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 結果 | 理由 |
|---|----|---|
| 愛着形成を基本とし、子供たちが安心して毎日登園出来るよう、一人一人の状況をよく把握する。 | A | 毎朝、保護者との会話や、送られてくる家庭での様子を確認する事で、一人一人の状態に寄り添った保育が出来ている。子どもの発達段階を理解、把握し個々に合った保育をする事で、意欲的に生活出来ている。 |
| 食事や運動を基本とし、日々の保育の中で友達や保育者との関りを楽しむ。子どもたちの意欲を引き出し、何事も楽しむ。 | B | 「いっぱい遊んで、いっぱい食べる」をモットーに積極的に戸外でたくさん遊ぶことを基本としている。丈夫な体作りの基本として、たくさん体を動かし、ご飯をたくさん食べ、しっかり午睡ができています。 |
| 職員の資質向上の為に、研修等に参加し、乳幼児理解に努める。 | B | 一人一人が積極的に研修に参加し、自己研鑽に励んだ。研修の内容はレポートにまとめ、職員会議で発表、共有をした。 |

| | | |
|---|---|---|
| 怪我、事故、災害時には職員全員が行動できるよう、安全に関する項目の共通理解を図る。また、園内環境整備にも目を配る。 | B | 毎月の避難訓練に加え、園内で研修を行っている。AEDの使い方などは常に新しい情報を更新し、いざという時に備えるためにも繰り返し行う必要がある。毎年全員が同じ水準で知識を持てるよう講習に参加し、情報共有する。 |
| 保護者との信頼関係の構築に努める。 | A | お迎え時やおたより帳を通して保護者との信頼関係を深めている。また、園だより、ホームページ等を使い、園での様子を発信している。年度末に行う関係者評価の意見を取り入れ、改善点を話し合い検討する。 |

4・園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結果 | 理由 |
|----|--|
| B | 開園から3年目となり、改善点を修正しスムーズで安定した保育の流れができた1年となった。こども園から移動の職員も加わり、こども園との連携や情報交換も積極的に行った。コロナ禍からの制限が無くなり、園行事の充実に期待のご意見をいただくようになった。少し保護者参加の行事は増やしたが、まだ増やしていけるように感じる。制限していたものを見直し、保護者の方にも子どもたちの成長過程をみていただけるような新たな形を考えていきたい。 |

5・今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|----------|---|
| 家庭との連携 | 家庭と園での子どもの様子を共有し、成長を共に支えるよう努めて安心して通園できる関係を築いていく。園の規則やクラスや個人ごとのお願いは、丁寧に説明し、快く承諾していただけるよう努める。 |
| 職員の自己研鑽 | 消防署との連携（AED使用講習等）。発達段階をふまえた保育の流れ、内容、保護者対応の見直し。 自身で学びたい保育の研修への積極的参加。研修で得た知識・技能の共有。 |
| こども園との連携 | 保育内容や行事兄弟児等、お互いの情報共有出来るよう密に職員交流する。日々の園庭での戸外遊びやこども園の行事に参加し、子どもたち同士も交流出来るよう調整をしていきたい。 |

◎「3・4」の評価結果の表示方法

| | |
|---|-------------------|
| A | 十分達成されている |
| B | 達成されている |
| C | 取り組まれているが成果が十分でない |
| D | 取組が不十分である |